

# 平成28年度決算 三木町の財務書類(一般会計)

歳入・歳出という現金の動きだけではなく、行政資源を総合的に管理し、財務活動をより分かりやすく示すため、統一的な基準に基づく財務書類を作成しましたので、その概要をお知らせします。

## 財務書類は次の4表で構成されます

### ①貸借対照表

会計年度末に三木町が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。

### ②行政コスト計算書

資産の取得に関わらない経常的な支出と、行政サービスの直接的な対価として得られた収入を表しています。

### ③純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部について、1年間でどのように変動したのかを示しています。

### ④資金収支計算書

貸借対照表の現金預金が1年間でどのように変化したのかを表しています。

## ①貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は、会計年度末に三木町が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目する従来の決算書では把握することができなかった、三木町の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

(単位：千円)

### 有形固定資産・無形固定資産

道路や学校など三木町が保有する公共施設の総額

### 投資等

特定の目的で積立てた基金や出資金の総額

### 流動資産

現金預金や現金化しやすい未収金等の総額

### 負債

地方債の残高や退職手当引当金などの総額

将来世代が負担する金額

### 純資産

道路や学校等の整備の財源として受けた国や県からの補助金や地方税などの総額

これまでの世代が負担してきた金額

科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
<b>【資産の部】</b>			<b>【負債の部】</b>		
固定資産	18,955,719	94,505	固定負債	7,411,759	△ 346,581
有形固定資産	17,295,470	△ 286,881	地方債	6,091,522	△ 145,680
事業用資産	11,089,877	△ 122,688	長期未払金	-	△ 6,528
インフラ資産	6,013,830	△ 123,520	退職手当引当金	1,313,297	△ 191,154
物品	191,763	△ 40,673	損失補償等引当金	-	0
無形固定資産	11,175	△ 86	その他	6,940	△ 3,219
投資その他の資産	1,649,074	381,472	流動負債	695,270	54,770
流動資産	3,479,338	△ 207,042	1年内償還予定地方債	562,032	33,945
現金預金	787,880	71,033	未払金	6,528	△ 984
未収金	26,842	△ 2,340	未払費用	-	0
短期貸付金	10,472	10,472	前受金	-	0
基金	2,656,089	△ 288,940	前受収益	-	0
棚卸資産	-	0	賞与等引当金	93,518	20,698
その他	-	0	預り金	25,897	6,465
徴収不能引当金	△ 1,945	2,733	その他	7,295	△ 5,354
			<b>負債合計</b>	<b>8,107,029</b>	<b>△ 291,811</b>
			<b>【純資産の部】</b>		
			固定資産等形成分	21,622,280	△ 183,962
			余剰分(不足分)	△ 7,294,252	363,236
			<b>純資産合計</b>	<b>14,328,028</b>	<b>179,274</b>
<b>資産合計</b>	<b>22,435,057</b>	<b>△ 112,537</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>22,435,057</b>	<b>△ 112,537</b>

## ②行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得(土地や建物の購入)に関わらない支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。経常費用が経常収益を上回っていますが、これは行政コスト計算書上の収入に、行政サービスの直接的な収入のみを計上しているためです。

(単位：千円)

科目	金額
<b>経常費用</b>	<b>8,672,252</b>
業務費用	4,994,909
人件費	1,333,583
物件費等	3,570,912
その他の業務費用	90,414
移転費用	3,677,343
補助金等	1,407,358
社会保障給付	1,163,204
他会計への繰出金	1,104,726
その他	2,055
経常収益	462,101
使用料及び手数料	158,669
その他	303,432
<b>純経常行政コスト</b>	<b>△ 8,210,151</b>
臨時損失	32,789
臨時利益	-
<b>純行政コスト</b>	<b>△ 8,242,940</b>

### 人件費

職員給与や、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額

### 物件費

物件費のほか、施設の維持修繕費や減価償却費

### その他の業務費用

支払利息、貸付金、火災保険料等

### 移転費用

社会保障給付や他会計への繰出金等

### 経常収益

使用料や手数料(行政サービスの直接対価)、財産貸付収入、現金利息等

## ③純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したのかを示しています。

(単位：千円)

科目	合計	固定資産等形成分	余剰分(不足分)
前年度末純資産残高	14,148,755	21,806,242	△ 7,657,487
<b>純行政コスト(△)</b>	<b>△ 8,242,940</b>		<b>△ 8,242,940</b>
財源	8,434,258		8,434,258
税収等	6,492,851		6,492,851
国県等補助金	1,941,407		1,941,407
<b>本年度差額</b>	<b>191,318</b>		<b>191,318</b>
<b>固定資産等の変動(内部変動)</b>		△ 166,964	166,964
有形固定資産等の増加		283,925	△ 283,925
有形固定資産等の減少		△ 553,894	553,894
貸付金・基金等の増加		2,186,263	△ 2,186,263
貸付金・基金等の減少		△ 2,083,258	2,083,258
資産評価差額	-		
無償所管換等	△ 16,998	△ 16,998	
その他	4,953		4,953
<b>本年度純資産変動額</b>	<b>179,273</b>	<b>△ 183,962</b>	<b>363,235</b>
<b>本年度末純資産残高</b>	<b>14,328,028</b>	<b>21,622,280</b>	<b>△ 7,294,252</b>

### 純行政コスト

行政サービスを提供するために要したコストから、サービス提供による直接的な対価を差し引いた額

### 財源

行政サービス以外での収入の総額

### 固定資産等の変動

資産(土地や建物の購入)や貸付金・基金の変動

### 資産評価差額

有価証券等の評価変動

### 無償所管換等

お金を伴わない資産の増減

## ④資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したのかを示しています。現金の使いみちにより、「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったのかが分かります。

(単位：千円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	8,127,977
業務収入	8,600,591
臨時支出	13,356
臨時収入	-
<b>業務活動収支</b>	<b>459,258</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	2,401,337
投資活動収入	2,131,483
<b>投資活動収支</b>	<b>△ 269,854</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	541,189
財務活動収入	416,352
<b>財務活動収支</b>	<b>△ 124,837</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>64,567</b>
前年度末資金残高	697,415
<b>本年度末資金残高</b>	<b>761,982</b>

### 業務活動収支

行政サービスを行う中で、毎年継続的に収入・支出される総額

### 投資活動収支

学校、道路等の公共施設の投資活動収支や、貸付金などの収入・支出の総額

### 財務活動収支

地方債等の借入・償還等の総額

前年度末歳計外現金残高	19,432
本年度歳計外現金増減額	6,466
<b>本年度末歳計外現金残高</b>	<b>25,898</b>
前年度末現金預金残高	787,880
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>787,880</b>

## 平成28年度決算 貸借対照表を住民一人当たりに換算すると・・・

※三木町人口数：28,604人  
平成29年1月1日時点の人口を利用して算出方法しています。

